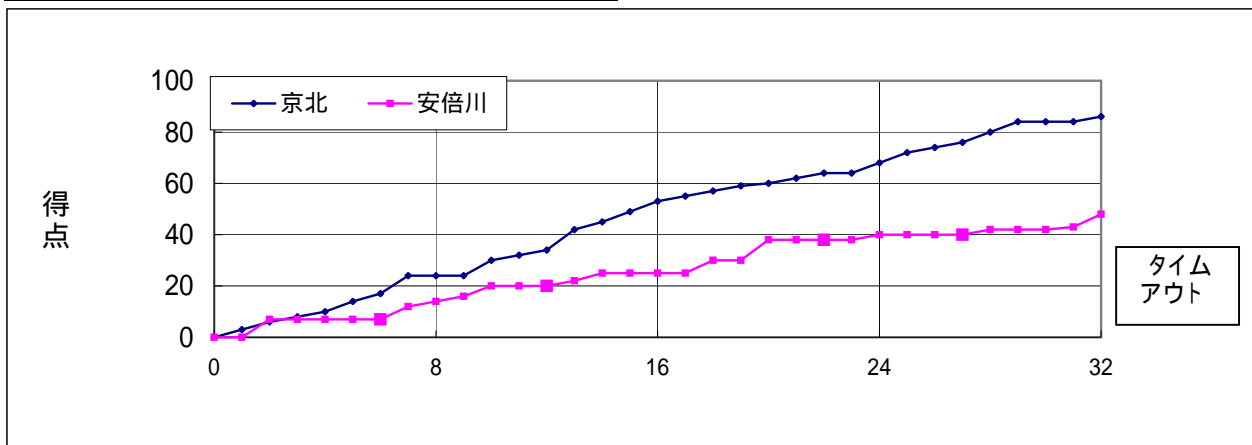


試合区分	2日目 決勝トーナメント1回戦 2GA3																
期日	2010年(平成22年)8月24日(火)		12:10														
会場	広島県立総合体育館																
結果	京北	86	48 安倍川														
	(東京)	<table border="1"> <tr><td>24</td><td>-</td><td>14</td></tr> <tr><td>29</td><td>-</td><td>11</td></tr> <tr><td>15</td><td>-</td><td>15</td></tr> <tr><td>18</td><td>-</td><td>8</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	24	-	14	29	-	11	15	-	15	18	-	8	-	-	-
24	-	14															
29	-	11															
15	-	15															
18	-	8															
-	-	-															
審判	主審 浜本 伸	副審 比嘉 涼太															



京北

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 新川 敬大 (C)	11	0	4	3	2
5	* 川久保 駿	7	0	3	1	1
6	* 安倍 友貴	7	1	2	0	0
7	* 石原 卓	17	1	7	0	1
8	* 小林 耀	13	0	6	1	2
9	吉川 治耀	14	1	5	1	0
10	福本 哲也	2	0	1	0	2
11	斉藤 孝幸	7	0	3	1	0
12	沼田 優樹	0	0	0	0	1
13	佐藤 涼	2	0	1	0	1
14	岡田 大貴	4	0	2	0	0
15	安倍 崇道	2	0	1	0	0
16	棟方 啓介	0	0	0	0	0
17	天利 優介	0	0	0	0	0
18	玉城 啓太	0	0	0	0	0
コーチ	田代 直人					
合計		86	3	35	7	10

安倍川

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 青木 保憲 (C)	16	2	5	0	2
5	* 宮下 博行	8	0	4	0	3
6	* 杉本 航一	12	3	1	1	0
7	* 寺田 一成	9	0	4	1	1
8	* 久保田 健太	3	1	0	0	2
9	門脇 柗人	-	-	-	-	-
10	久米 洸祥	-	-	-	-	-
11	渡邊 絃輝	-	-	-	-	-
12	山崎 遼太	-	-	-	-	-
13	手塚 俊太	-	-	-	-	-
14	黒柳 瑞紀	-	-	-	-	-
15	杉浦 航介	-	-	-	-	-
16	伊藤 嘉紀	-	-	-	-	-
17	海野 晃弘	-	-	-	-	-
18	松山 虎大朗	-	-	-	-	-
コーチ	青木 久美子					
合計		48	6	14	2	8

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

予選リーグを危なげなく勝ち上がった京北と、接戦を制し駒を進めた安倍川との対戦。両チームともハーフのマンツーマンDefでスタート。先制したのは京北#8のドライブイン。対する安倍川は#4の外角シュートを中心に対抗する。お互い激しいDefからの速い攻めを展開するが、安倍川は外角シュートがなかなか決まらない。京北は#14のゴール下、#9の3Pなどで得点を重ねる。2Qに入り、京北はボールに対して激しくプレッシャーをかけ、安倍川は思うようにシュートが打てない。#5、#4のシュートが決まるが、京北は#5がゴール下のシュートをねじ込み、じわじわと差を広げていく。安倍川はタイムアウトを取り流れを変えようとするが、京北はメンバーを変え激しいDefを仕掛け、53-25で前半は終了した。

3Q序盤、安倍川は#6、#4の3P、#7のミドルと連続得点し、さらにスティールから#6が決め、59-38と追い上げる。しかしここから京北はドライブからの合わせや外角シュートで自分たちのペースを取り戻し、68-40で3Qを終えた。4Qは、京北が2-1-2のゾーンからボールを奪い、着実に加点していく。安倍川はゾーンを攻めきれず得点が止まる。京北は最後まで攻撃の手を緩めず、86-48で勝利した。敗れたとはいえ安倍川の最後までゴールに向かい続けた懸命な姿にも拍手を送りたい。

記載者 関川 富栄 (所属) 広島